

2007年度第10回理事会議事録

2008年3月24日
日本地質学会 会長 木村 学

期 日：2008年3月8日（土）12:45～15:45

場 所：地質学会事務局

出席者：木村会長，伊藤副会長，佃副会長，渡部常務理事・天野副常務理事・上砂・狩野・藤本・向山・宮下・矢島 各理事，橋辺（事務局）

欠席者：Wallis・公文・倉本・斎藤・中山・久田

*成立員数（12/17）に対し，出席者 11名，委任状 6名，欠席者 0名で，理事会は成立。

報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，中山，向山，倉本）

総務委員会（委員長-上砂）

- ・ 学術会議「総合工学委員会工学基盤における知の統合分科会：「科学研究費補助金システム改革検討ワーキンググループ」よりアンケートへの協力依頼があり，各専門部会長にも意見聴取をしたが返答がなかったので，倉本理事がまとめて回答した。
- ・ 学術会議より国際コンソーシアムへの取り組みについてアンケート依頼があり，国際交流担当の公文理事が取りまとめて回答した。
- ・ 学術会議より公益法人についてのアンケート依頼があり，理事間確認の上回答した。
- ・ 東レ科学技術研究助成に，地質学会から応募した東大の加藤泰浩会員の「同位体を指標とする固体地球の応答の解明」が採択された。
- ・ 科学教育研究協議会より第55回全国研究大会（石川県加賀市，8月2日-4日）の後援依頼があり，例年通り承諾した。
- ・ 日本年度学会より第52回粘土科学討論会（沖縄県那覇市，9月3日-5日）の共催依頼があり，例年通り承諾した。
- ・ 新潟大学災害復興科学センター長の交代挨拶：新センター長 仙石正和氏
- ・ 「科学の芽」賞（筑波大学，朝永振一郎記念）の実施報告書，応募総数 846件，受賞者 20件（小10，中9，高1）

会員関係（担当理事 中山）

- 1) 入会者 4名（正1）平塚延幸
（準3）津田龍一 田中麻衣 Wu Lan
- 2) 退会者 1社+74名（賛助1社，正69，院4，準1）
- 3) 2月末日会員数
賛助34，名誉74，正4,426（うち院273），準39，合計4,573（前年同期比 -59）
- 4) 除籍予定者 正125名 2004年からの滞納者

関連学会連合（担当理事 天野）

地理関連学会連合

- ・ 第10回総会（3/28）開催：天野理事出席予定

自然史学会連合（斎木健一委員）

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

- ・ 公開討論会および第7回評議員会の開催通知と討論会（3/14，13:00）への出席依頼があった。伊藤副会長，宮下理事，橋辺事務局長が出席の予定。
- ・ 国際地学オリンピック日本委員会準備委員会（久田）
 - 1) 応募者数は356名となった。
 - 2) 地学教育委員会からの推薦で地学オリンピック小委員会委員として活動された、香東会員は学校業務多忙のため，地学オリンピック日本委員会発足とともにオブザーバーとなった。ついては，地学教育委員会から総務部会（主査 久田）あるいは広報渉外部会（主査 伊藤 孝（茨城大学））の副主査の方1名を推薦して欲しいとの

依頼があった。これを受けて、地質学会からは有山、石川、矢島を推薦することとした。

学術会議関係報告（木村会長＝連携会員）

会計関係（担当理事 向山）

- ・地質学用語辞典集委員会より地質学用語集(デジタル)の印税の全額寄付申入れがあった。

広報委員会(担当理事 倉本)

ニュース誌編集小委員会（担当理事 倉本）

インターネット運営小委員会(委員長-坂口有人)

2. 学術研究部会（部会長-公文,）

国際交流委員会（公文 国際特任理事）

- ・タイ地質学会との交流記念楯を作成し、久田理事が持参する。

3. 編集出版部会（部会長-狩野, 久田, 宮下, Wallis）

地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野 副委員長-久田, 宮下=企画担当）

- ・今月の編集状況は以下の通りです（3月7日現在）。

114-3月号：論説3・短報1・口絵1（48ページ・校正中）

114-4月号：教育特集号（総説5），一般論文（論説1 短報1 ノート1）（入稿準備中）

- ・2008年度度投稿論文総数16編 [論説8（和文7 欧文1），総説6（和文6）短報1，討論1]
- ・投稿数昨年比 +4 査読中 48編 受理済み 7編（うち 報告1，ノート1を含む）
- ・地質学雑誌表紙新デザイン募集状況 2件（3/7現在）

企画部会報告（宮下）

- ・特集号「最終間氷期の環境変動－日本列島陸域と周辺海域の統合を目指して－」査読中
- ・特集号「プレート沈み込み帯と地震」（世話人 廣野哲朗ほか）投稿準備中（8/9件投稿済み）残り1編が投稿された時点で受付，査読開始予定。
- ・特集号「日本海沿岸褶曲・断層帯の形成・成長と地震活動」（世話人 高木秀雄）投稿準備中：3月頃？

Island arc 編集委員会(担当理事 Wallis, 事務局長 竹内圭史・角替敏昭)

- 1) 井龍・前川新体制による編集が始まった。

08年新規投稿7編。

- 2) 2008年編集状況

2008年17巻の新契約ページ数は620p. 予定（07前借り30pの件は要確認）

1号 Pictorial 1編，一般10編，182p. 定期より1ヶ月早く2月下旬発行済み。

2号 Pictorial 1編，一般6編，102p. 見込み。校正済み，近日 Online Early 公開見込み，発行6月予定。

3号 受理原稿2編

- 3) 特集

板谷特集：6編中受理2編も，17-3号掲載は厳しいか？

久田特集：24編中12編受理，まずは順調に進行中。17-4号・18-1号分割 掲載を予定。

HKT(ヒマラヤ)特集：8編中1編受理。掲載は18-3号を予定。

- 4) 投稿のトラブル

海外からの投稿原稿は査読プロセスを経て，微修正の段階に入りましたが，内容は既に外国語で出版された論文と酷似していることが判明しました。

編集委員長（旧・新）で確認したところ，図と表は殆ど同じであるものの，テキストは完全にだぶらないことがわかりましたので，2重投稿に当たらないと判断しました。

ただし，もとの外国語の論文は引用されておらず，大幅な見直しが必要となったので，著者に編集側の判断を説明し，再投稿を促した上で，原稿を reject しました。

- 5) Island Arc Award の近況

Island Arc Award は、選考検討委員会（巽 好幸委員長）でメールによる投票と議論を行った結果、Oh Chang Whan（呉 昌桓）氏を推薦することが決定された。推薦文、略歴、履歴書、写真などは事務局と各賞選考委員長に送付しており、本人に内定を伝えた。本人からは9月の秋田の年会に出席するとの意思表示があった。

Island arc 連絡調整委員会（委員長 会田，担当理事 Wallis）

企画出版委員会（担当理事 藤本）

4. 普及教育事業部会（部会長-矢島，藤本）

5. その他

ジオパーク推進委員会（担当理事，佃委員長）

・委員会のメンバーを決定した。委員会は5月に発足する。

天野一男（委員長），田近 淳，竹谷陽二郎，立石雅昭，三田村宗樹，高橋治郎，大木公彦，高木秀雄（日本ジオパーク委員会委員），矢島道子，渡辺真人

学会就業規則整備委員会（委員長 立石雅昭）

就業規則改正案を理事会に答申。

就職支援ワーキンググループ（委員長：伊藤）

・3月11日（火）に第1回目委員会を開催した。

・委員は，伊藤，矢島，向山，小松原（産総研），成瀬（千葉大）となった。

6. 選挙管理委員会（委員長 加藤潔）

【以下，理事会および評議員会の下委員会】

名誉会員推薦委員会（伊藤副会長）

・2月15日〆切で名誉会員候補者6名の推薦があり選考中。

7. 地質の日委員会（藤本委員）

○ メール審議事項

1. 各賞選考への理事会推薦委員会の本年度の運用について，選考委員長，選考検討委員会委員長，関係の推薦委員にたいし文書による説明とお詫びした。

○ 審議事項

1. 地層処分に関するリーフレットの企画について

地質環境の長期安定性研究委員会の吉田委員長並びに高橋委員からの説明を受けた。

- ・日本の地質に関する客観的データを分かりやすく紹介するパンフレットを作成する。
- ・対象は一般市民
- ・いろいろな立場の方の資料として使えるもの
- ・理事会で進行を見守ることを条件に企画を進めることを承認した。

2. 来年度事業方針会長文書の確定

3. 来年度事業計画と，対応した予算計画の最終案確定

4. 来年度選挙活動に向けた改善案

・平成19年度選挙管理委員会からの意見書が紹介され，検討した。

- 1) 推薦者のあり方

- ・個人名の推薦者は可。
- ・組織推薦は無い旨をはっきりさせる。

- 2) マニフェストについて

- ・質問状は私文書扱いとする。
- ・討論会などを開催することを検討する。
- ・マニフェストは投票開始前に公表する。ニュース誌に公表。

- 3) 選管の専用MLの必要性
 - 4) 会員からの質問状への対応
 - 5) ボールペン書きの投票用紙への対応
 - 6) 立会人のあり方
5. 政治活動等についてのガイドライン案
 - ・12日の法務委員会において理事会案を審議することとした。
 6. 除名申し立てにかかる学会手続きの策定
 - ・法務委員会からの報告を受けた。
 - ・法務委員会への要望：明文化された規定の範囲では、対応が不可の部分がある。幅をもった判断をしていく必要がある。
 - ・法務委員会から評議員会へ報告を行い、議論する。
 7. 法人化対応の作業委員会メンバー確定
 - ・委員会は4月以降発足予定
 渡部・天野（正・副常務理事） 上砂（総務担当理事） 向山（会計担当理事）
 藤本光一郎（理事）坂口有人 佐瀬和義（要請中）
 オブザーバー 篠原顧問会計士，高木顧問弁護士，山本司法書士（監事）
 8. 秋田大会への理事会としてのサポートの具体的内容
 - ・同時開催の情報展の準備の進展を含めて、次回に行事委員会から報告されることとなった。
 9. 学会就業規則の改正案答申
 - ・委員会より就業規則（案）が提示され、了解された。一部細目について委員会との確認を行う。
 10. その他
 - 1) 評議員会議題について
 1. 2007年度決算(案)および2008年度事業計画，予算案について
 2. 各賞選考結果について
 3. 名誉会員候補者の推薦について
 4. 除名申し立てにかかる学会手続きの策定について
 5. 選挙手続きの改善について
 6. その他
 - 2) 総会議案について→3月号 News 誌に掲載
 総会の期日および会場については予定通り連合に申し込み済み。
 会期は，5月25日（日）17:30～19:00，終了後20:00まで評議員会。
 - 1.開会
 - 2.議長選出
 - 3.議案
 - 1号議案 2007年度事業経過報告
 - 2号議案 2007年度決算報告
 - 3号議案 選挙結果の報告
 - 新旧代議員・役員の交代———
 - 4号議案 2008年度事業計画について
 - 5号議案 2008年度予算案について
 - 6号議案 名誉会員の推薦について
 - 4.閉会

以上